

(5) こども育成施設

1) 学童保育室

① 概要

本市には、保護者が就労等により家庭に不在の、主に小学1年生から3年生までの児童を対象に、健全な育成を図ることを目的とする公設の学童保育室が30か所あり、清溪小学校と忍頂寺小学校を除く全ての小学校で開設しています（※清溪・忍頂寺小学校の児童は、山手台学童保育室を利用可）。そのうち15施設は、小学校の校舎棟の余裕教室等を活用しています。

学校の敷地内に独立して建てられている16施設は比較的新しいものが増えていますが、築30年を超える施設も2施設あります。また、入室児童数の増加に対応するため、中条学童保育室は令和元年（2019年）、庄栄学童保育室は令和6年（2024年）に新たに2階建ての建物を建築しています。

いずれも直営の施設であり、指定管理者制度は導入していません。

なお、市内には、放課後児童健全育成事業を実施する施設として届出をしている民間の学童保育室が15か所あります。

表 3-2-11 学童保育室の概要

No.	施設名	所在地	複合区分	運営形態	延床面積 (㎡)	主要な建物の情報 (R7年末現在)			
						主な建築年	経過年数	構造・階数	耐震性
学童保育施設									
1	茨木学童保育室【茨木小学校内】	片桐町8番40号	複合	直営	130	S33	67	RC・3	○
2	春日学童保育室【専用建物】	春日五丁目5番17号	単独	直営	461	H30	7	S・2	○
3	春日丘学童保育室【専用建物】	中穂積三丁目3番43号	単独	直営	46	H17	20	S・1	○
	春日丘学童保育室【春日丘小学校内】	中穂積三丁目3番43号	複合	直営	65	S40	60	RC・3	○
4	三島学童保育室【三島小学校内】	三島町3番13号	複合	直営	130	S43	57	RC・3	○
5	玉櫛学童保育室【専用建物】	水尾三丁目1番51号	単独	直営	143	H14	23	S・1	○
6	安威学童保育室【専用建物】	安威二丁目21番23号	単独	直営	68	H6	31	S・1	○
7	玉島学童保育室【専用建物】	玉島二丁目11番23号	単独	直営	143	H11	26	LS・1	○
8	福井学童保育室【専用建物】	東福井二丁目4番20号	単独	直営	231	H30	7	LS・2	○
9	大池学童保育室【大池小学校内】	大池一丁目5番8号	複合	直営	130	S40	60	RC・3	○
10	豊川学童保育室【豊川小学校内】	宿久庄五丁目14番5号	複合	直営	65	S45	55	RC・2	○
11	中津学童保育室【中津小学校内】	中津町10番15号	複合	直営	130	S46	54	RC・4	○
12	東学童保育室【東小学校内】	鮎川二丁目5番23号	複合	直営	130	S48	52	RC・3	○
13	水尾学童保育室【専用建物】	水尾四丁目7番16号	単独	直営	145	H10	27	LS・1	○
14	郡山学童保育室【郡山小学校内】	新郡山二丁目30番18号	複合	直営	130	S51	49	RC・3	○
15	太田学童保育室【太田小学校内】	花園一丁目21番26号	複合	直営	175	S58	42	RC・3	○
16	天王学童保育室【専用建物】	天王二丁目13番57号	単独	直営	275	H15	22	S・1	○
17	葦原学童保育室【葦原小学校内】	新和町13番50号	複合	直営	130	S51	49	RC・3	○
18	郡学童保育室【専用建物】	郡五丁目26番23号	単独	直営	105	H11	26	S・1	○
19	沢池学童保育室【専用建物】	南春日丘三丁目11番6号	単独	直営	130	H18	19	S・1	○
20	畑田学童保育室【専用建物】	畑田町3番31号	単独	直営	158	H17	20	S・1	○
21	山手台学童保育室【山手台小学校内】	山手台四丁目9番4号	複合	直営	130	S56	44	RC・4	○
22	耳原学童保育室【耳原小学校内】	耳原二丁目20番55号	複合	直営	130	S54	46	RC・4	○
23	穂積学童保育室【穂積小学校内】	下穂積二丁目6番62号	複合	直営	130	S56	44	RC・3	○
24	白川学童保育室【白川小学校内】	白川一丁目4番1号	複合	直営	130	S56	44	RC・3	○
25	東奈良学童保育室【専用建物】	東奈良二丁目5番36号	単独	直営	130	H13	24	S・1	○
26	西学童保育室【専用建物】	北春日丘三丁目12番23号	単独	直営	113	S59	41	S・1	○
27	西河原学童保育室【西河原小学校内】	西河原北町7番33号	複合	直営	65	S59	41	RC・3	○
28	彩都西学童保育室【専用建物】	彩都あさぎ五丁目8番1号	単独	直営	184	H19	18	S・1	○
29	中条学童保育室【専用建物】	新中条町7番12号	単独	直営	437	R1	6	LS・2	○
30	庄栄学童保育室【専用建物】	庄二丁目26番5号	単独	直営	498	R6	1	W・2	○

※延床面積は学童専用教室の面積

② 施設位置図



図 3-2-63 対象施設位置図 (学童保育室)

③ 利用の状況

学童保育室を利用する児童数は増加傾向にあり、令和6年度（2024年度）には、2,935人となっています。指導員の数は平成21年度（2009年度）には109人でしたが、令和6年度（2024年度）には約2倍の209人に増加しています。

施設別にみると、令和6年（2024年）5月1日現在で、利用児童数が100人を超える施設が15施設となっています。

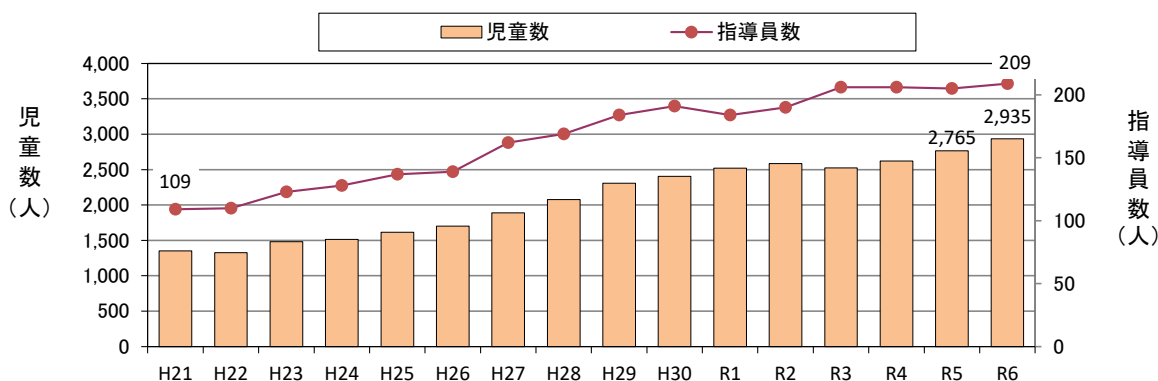


図 3-2-64 利用児童数・指導員数の推移（各年5月1日現在）

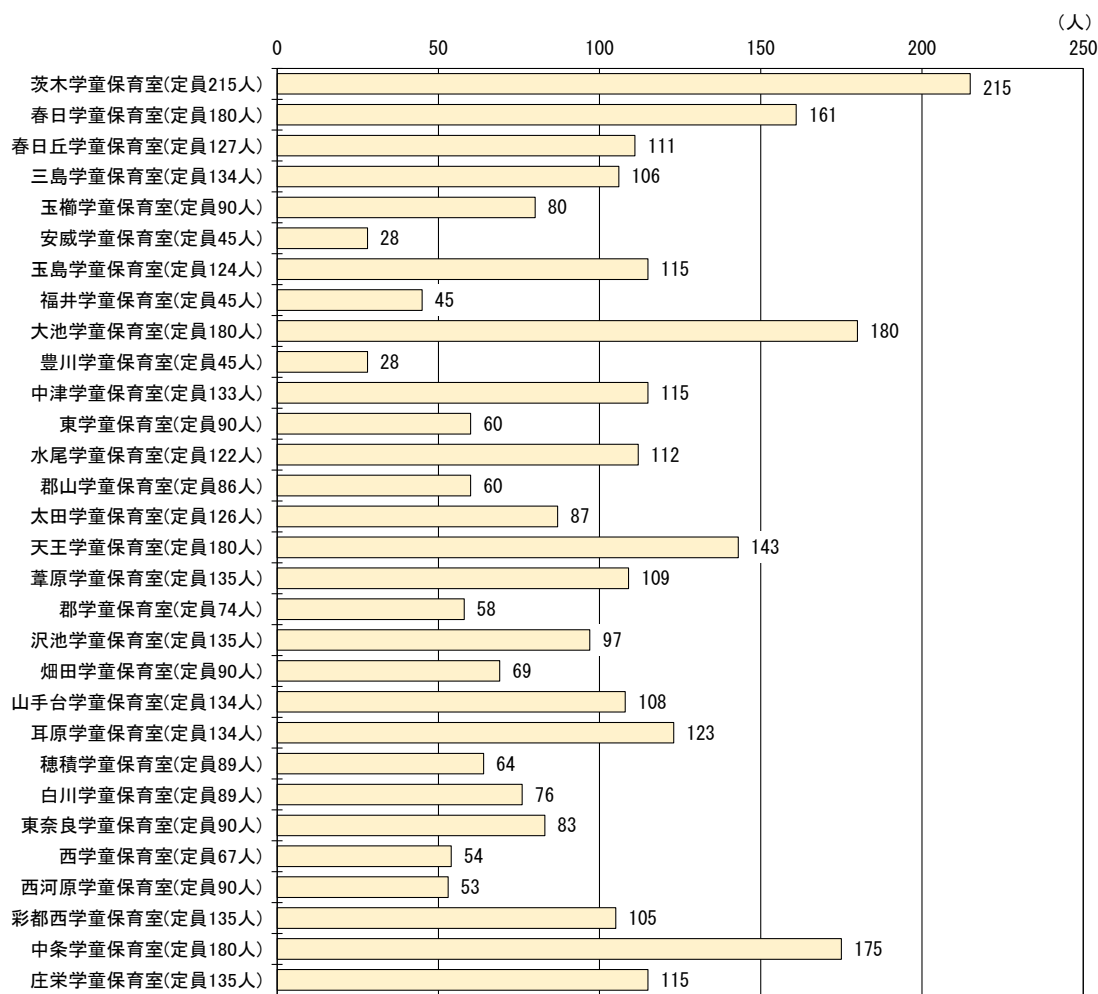


図 3-2-65 利用児童数（令和6年（2024年）5月1日現在）

学童保育室の利用にあたっては、事前に申込が必要であり、年度途中でも申し込みは可能ですが、空きがない場合には待機扱いとなっています。

令和6年（2024年）5月1日現在の受入可能人数に対する利用児童数の割合（受入可能人数充足率）をみると、3施設で空きがない状態です。

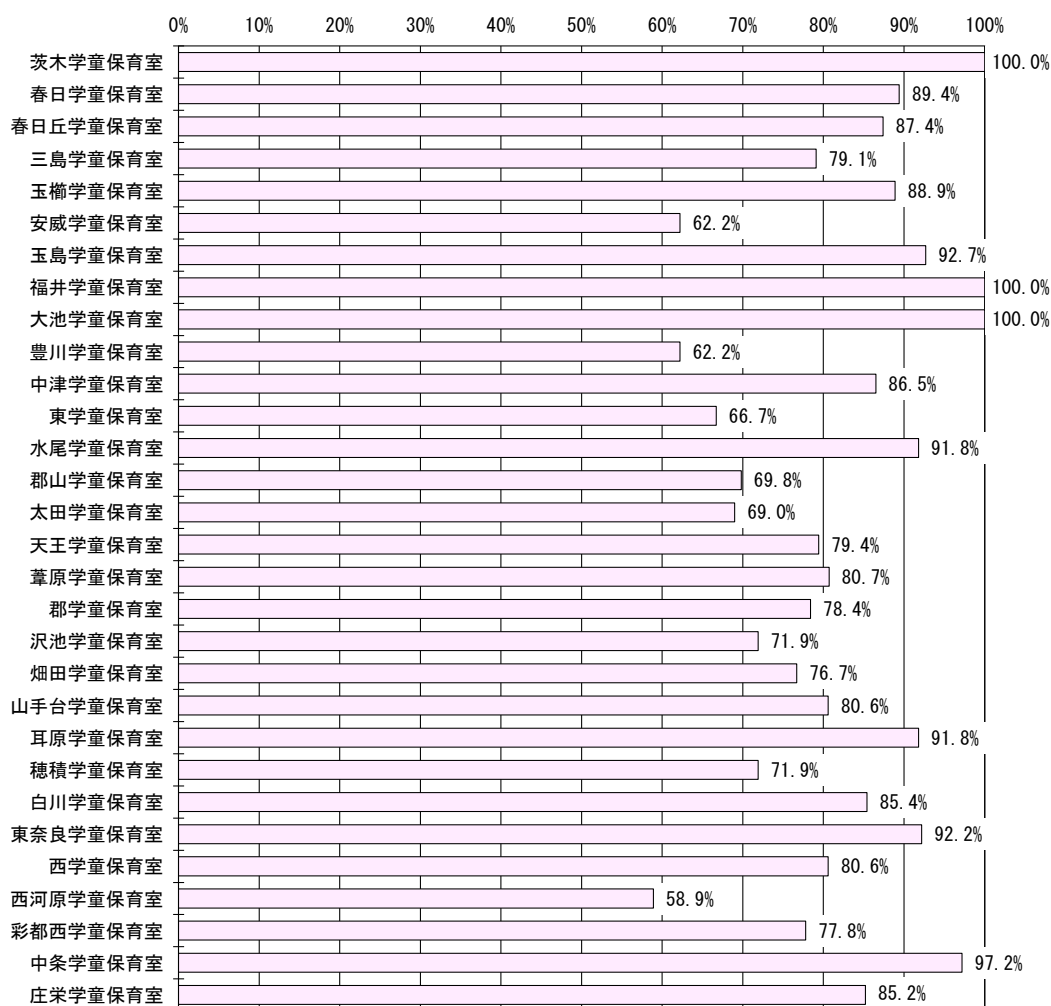


図 3-2-66 施設の利用状況（受入可能人数充足率）（令和6年（2024年）5月1日現在）

④ 施設に関する総コストの状況

令和6年度（2024年度）の施設に関する総コストをみると、茨木学童保育室で約1億1千万円、天王学童保育室で約7千万円などとなっており、指導員の人件費が大部分を占めています。

また、歳入をみると、学童保育室利用率や運営に対する補助金を含めて、歳入が2,000万円を超える施設が18施設となっています。

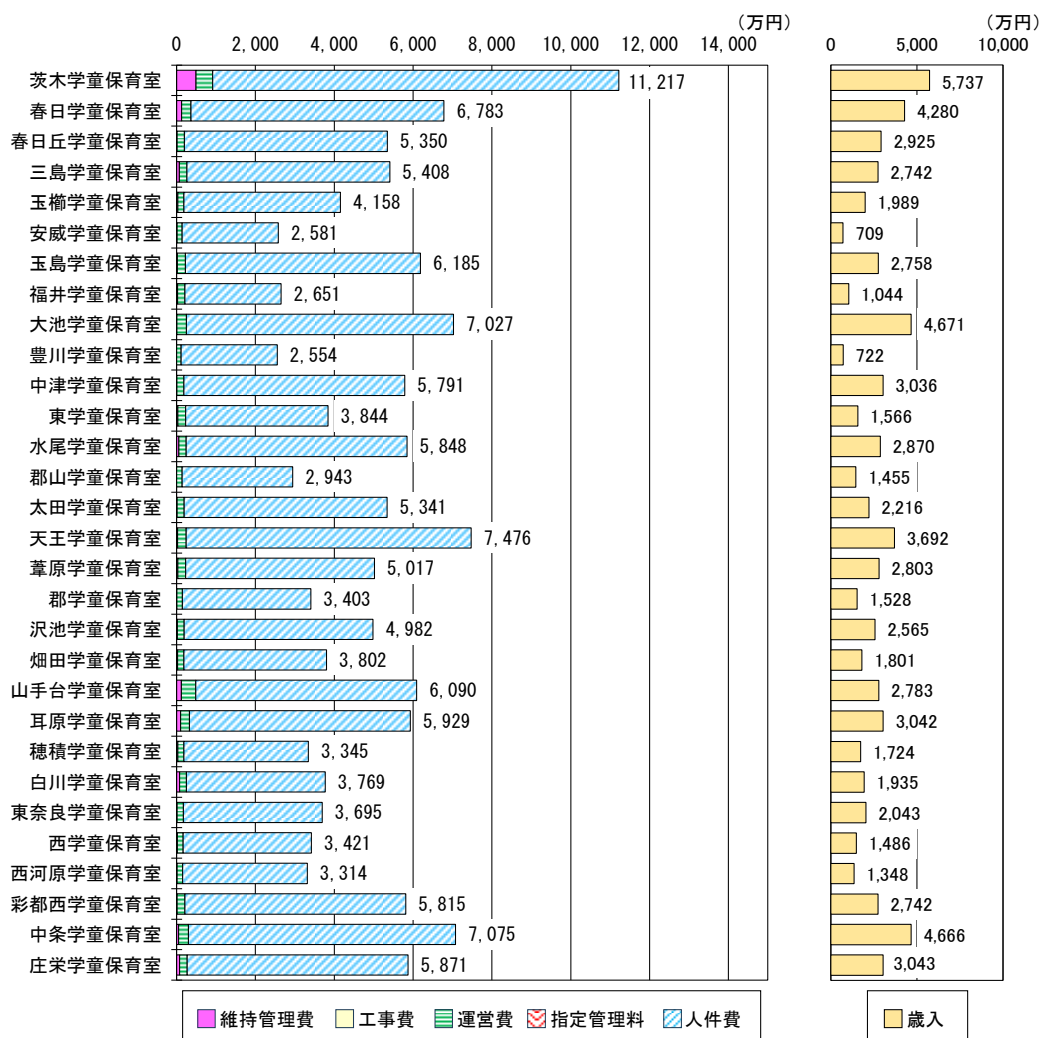


図 3-2-67 施設に関する費用と内訳（令和6年度（2024年度））

⑤ 単位あたりの市負担コストの状況

単位あたりの市負担コスト（工事費に係る歳入歳出を除く）について、延床面積1㎡あたりで比較すると、茨木学童保育室で約42万3千円、西河原学童保育室で約30万3千円となっています。

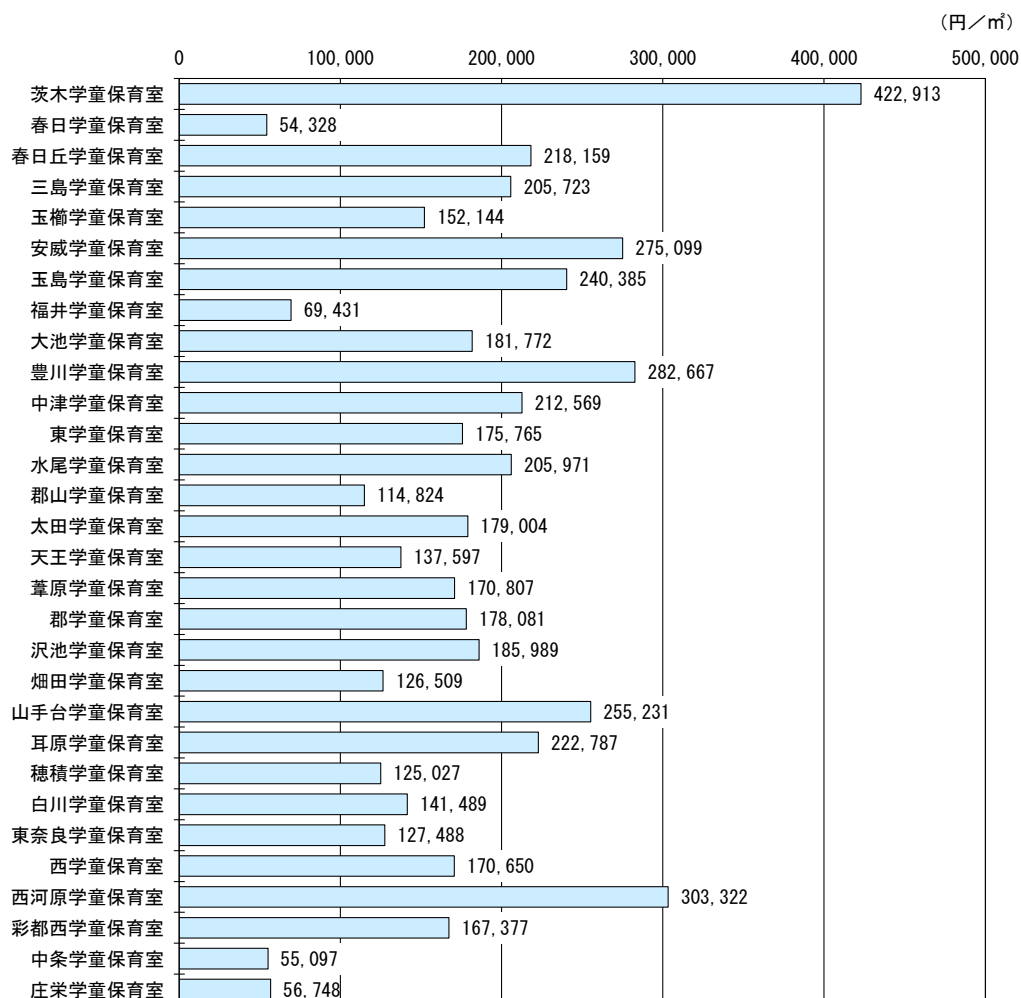


図 3-2-68 延床面積1㎡あたりの市負担コスト（令和6年度（2024年度））

また、利用児童1人あたりで比較すると、利用児童数が28人と最も少ない安威学童保育室で約66万8千円となっています。

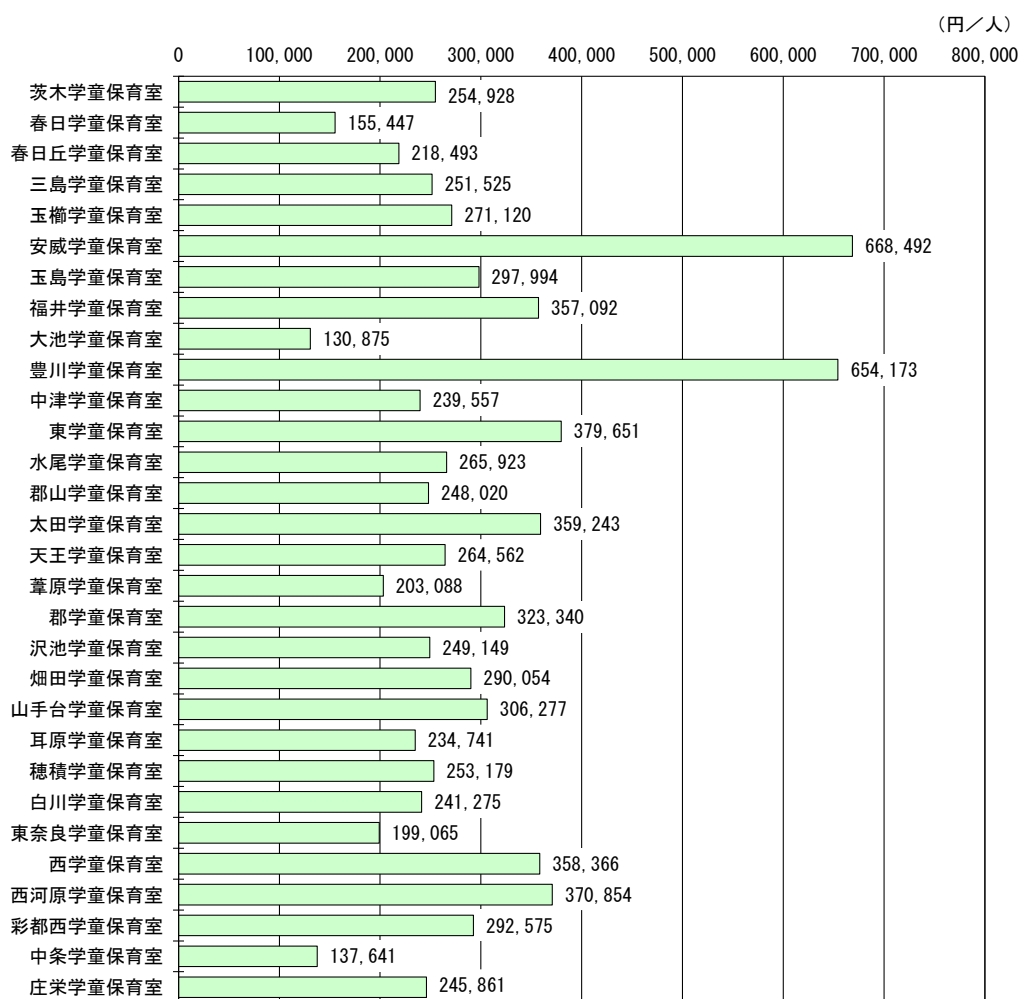


図 3-2-69 利用児童1人あたりの市負担コスト（令和6年度（2024年度））

⑥ 単位あたりの利用状況

延床面積 10m^2 あたりの児童数をみると、茨木学童保育室で約 17 人と最も多くなっています。

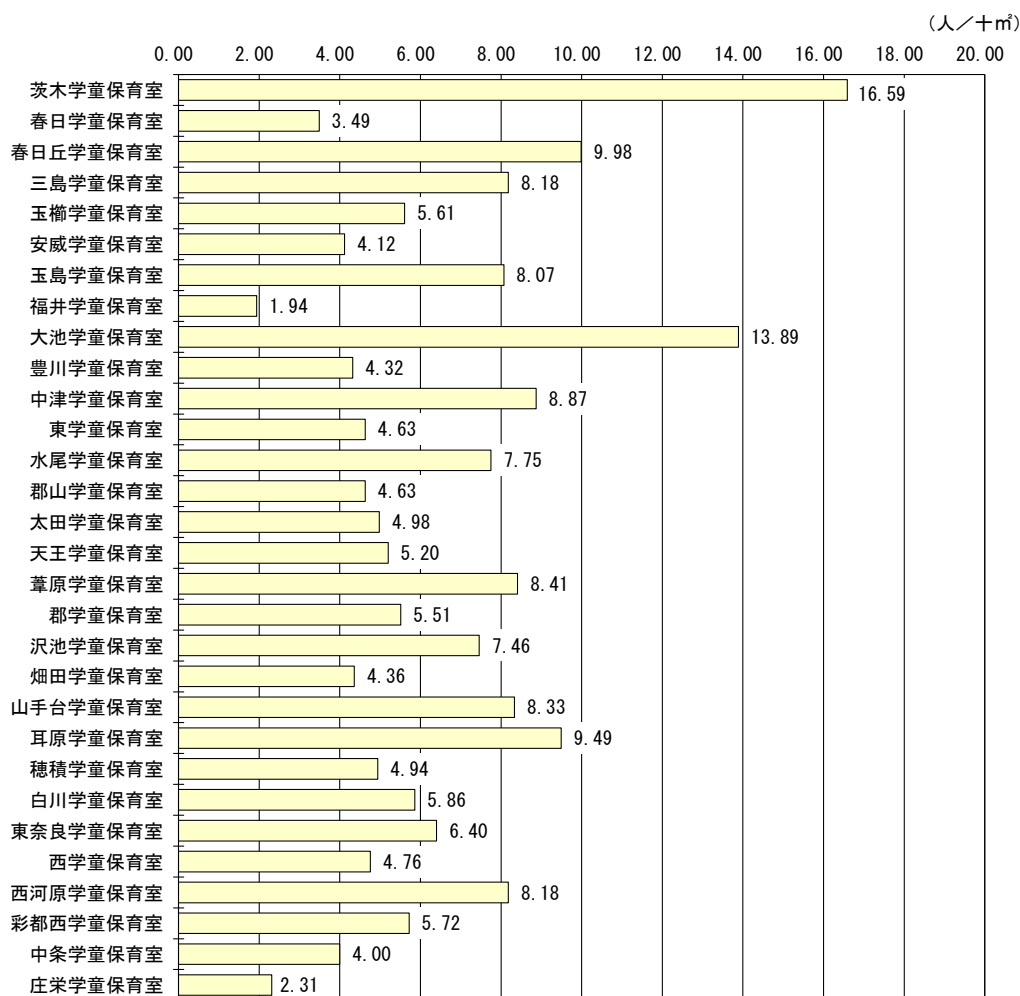


図 3-2-70 延床面積 10m^2 あたりの利用者数（令和 6 年（2024 年）5 月 1 日現在）

2) 保育施設

① 概要

本市では、就労などのため家庭で保育ができない保護者に代わって保育を行うための保育施設が8か所（保育所5か所、小規模保育施設1か所、待機児童保育室2か所）あります。

いずれも直営の施設であり、指定管理者制度等は導入していません。小規模保育施設のぞみを除く施設では、建築から30年以上が経過しており、中には50年以上経過している施設もあり、老朽化が進行しています。

なお、市内には、それぞれ特色のある運営をしている私立保育園、認定こども園等が75か所あります。

表 3-2-12 保育施設の概要

No.	施設名	所在地	複合区分	運営形態	延床面積(m ²)	主要な建物の情報 (R7年末現在)			
						主な建築年	経過年数	構造・階数	耐震性
保育所									
1	春日保育所	西田中町1番6号	単独	直営	888	S62	38	RC・2	○
2	中央保育所	宮元町2番34号	単独	直営	550	S46	54	RC・2	○
3	沢良宜保育所	沢良宜浜三丁目13番27号	単独	直営	724	S47	53	RC・1	○
4	総持寺保育所	総持寺二丁目2番15号	単独	直営	566	S48	52	RC・1	○
5	郡保育所	郡五丁目29番4号、 郡山二丁目24番25号	単独	直営	1,375	S53	47	RC・2	○
小規模保育施設									
1	小規模保育施設のぞみ	春日五丁目5番18号	単独	直営	222	H30	7	LS・1	○
待機児童保育室									
1	待機児童保育室あゆみ(廃園)	学園町2番1号	単独	直営	2,257	S51	49	S・3	○
2	待機児童保育室みらい	西河原二丁目16番17号	単独	直営	465	S48	52	RC・2	○
3	待機児童保育室あゆみ【保健医療センター内】	春日三丁目13番5号	複合	直営	950	H3	34	RC・4	○

※待機児童保育室あゆみは令和7年4月1日に保健医療センター内に移転



沢良宜保育所



小規模保育施設のぞみ

② 施設位置図

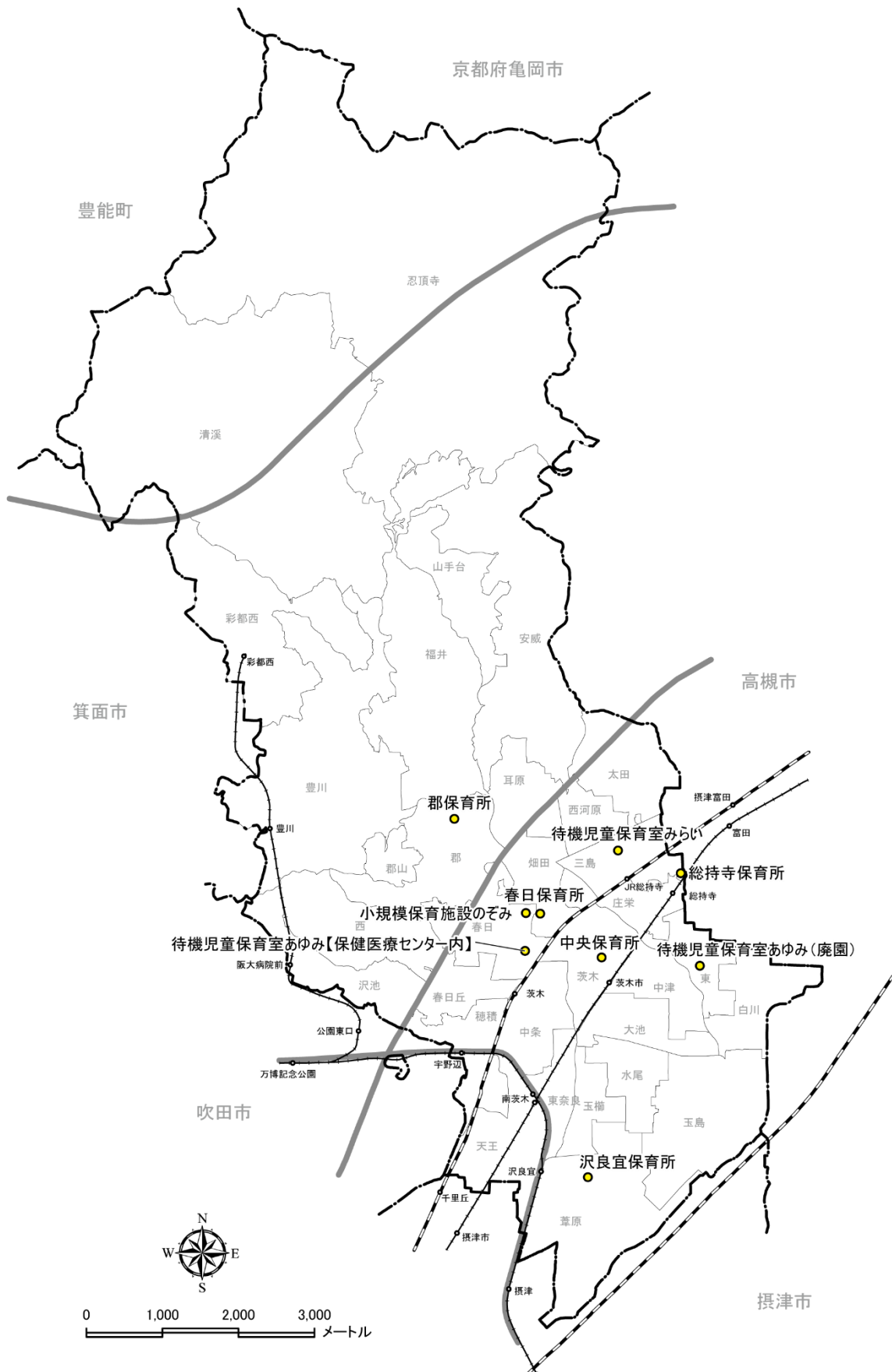


図 3-2-71 対象施設位置図（保育施設）

③ 利用の状況

市立保育所と私立保育園等を合わせた入所児童数は一貫して増加を続けており、平成 21 年度（2009 年度）には 4,122 人でしたが、令和 6 年度（2024 年度）には 7,117 人となっています。

入所児童数は、平成 21 年度（2009 年度）では市立保育所が約 3 割を占めていましたが、市立保育所の民営化や、私立保育園等の新設や定員増を行ったことから、令和 6 年度（2024 年度）では私立保育園等が約 9 割を占めています。

市立保育所の施設別の入所児童数をみると、郡保育所が最も多く、136 人となっています。

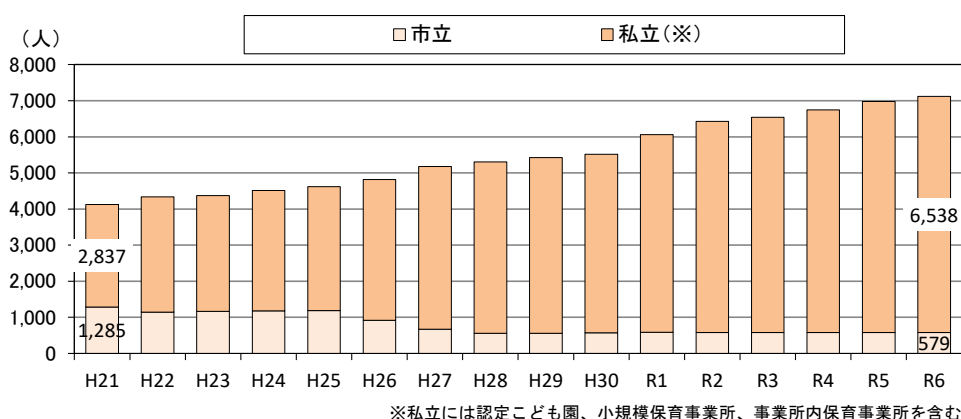


図 3-2-72 保育所入所児童数の推移（各年 4 月 1 日現在）

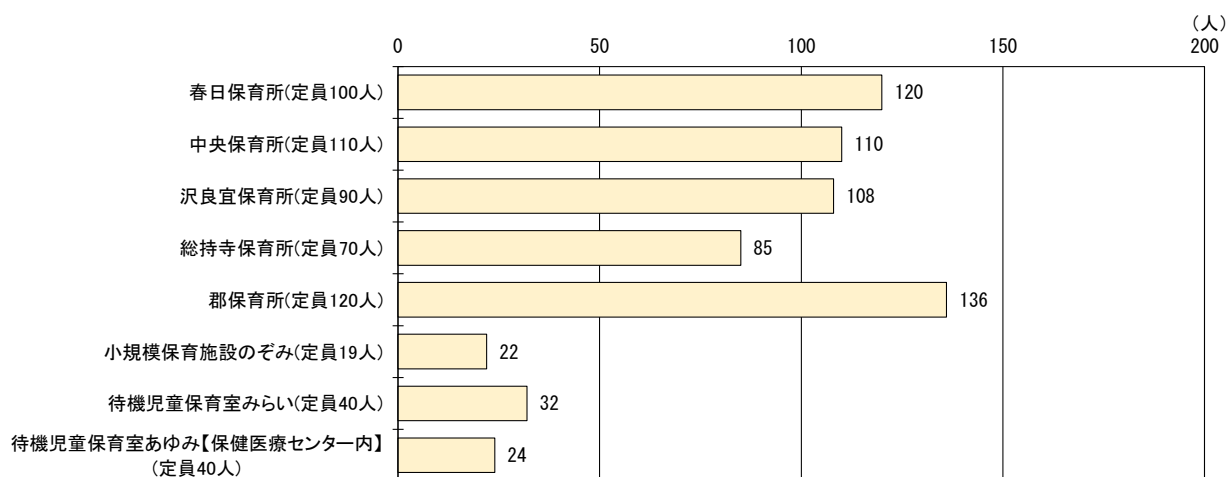


図 3-2-73 入所児童数

（令和 7 年（2025 年）3 月 1 日現在、待機児童保育室あゆみ【保健医療センター内】は令和 7 年（2025 年）4 月 1 日現在）

保育所には定員がありますが、令和6年度（2024年度）の定員充足率（定員に対する入所児童数の割合）をみると、近年の高い保育需要に対応するため弾力的な運用を行っており、4つの保育所と小規模保育施設のぞみで定員を超えた入所を行っています。

待機児童保育室は、保育所への入所を待機している児童の一時的な保育施設という位置付けであり、保健医療センター内にある待機児童保育室あゆみでは定員の60.0%、待機児童施設みらいでは80.0%の児童が入室しています。



図 3-2-74 定員充足率

（令和7年（2025年）3月1日現在、待機児童保育室あゆみ【保健医療センター内】は令和7年（2025年）4月1日現在）

④ 施設に関する総コストの状況

令和6年度（2024年度）の施設に関する総コストをみると、入所児童数の最も多い郡保育所で約2億6千万円などとなっており、いずれの施設でも人件費が大部分を占めています。保健医療センター内にある待機児童保育室あゆみでは、令和7年度（2025年度）開設に向けた工事費が大部分を占めています。

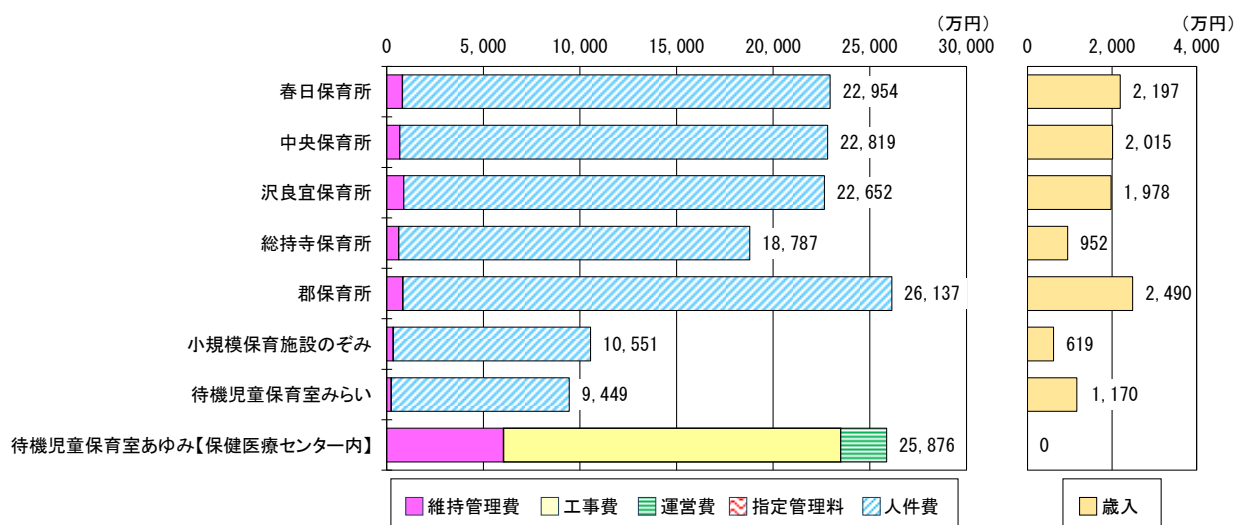


図 3-2-75 施設に関する費用と内訳（令和6年度（2024年度））

⑤ 単位あたりの市負担コストの状況

単位あたりの市負担コスト（工事費に係る歳入歳出を除く）について、延床面積1㎡あたりで比較すると、小規模保育施設のぞみで約44万8千円、中央保育所で約37万8千円、総持寺保育所で約31万5千円となっています。

また、入所児童数1人あたりで比較すると、小規模保育施設のぞみで約451万円、待機児童保育室みらいで約259万円、総持寺保育所で約210万円、沢良宜保育所で約191万円となっています。

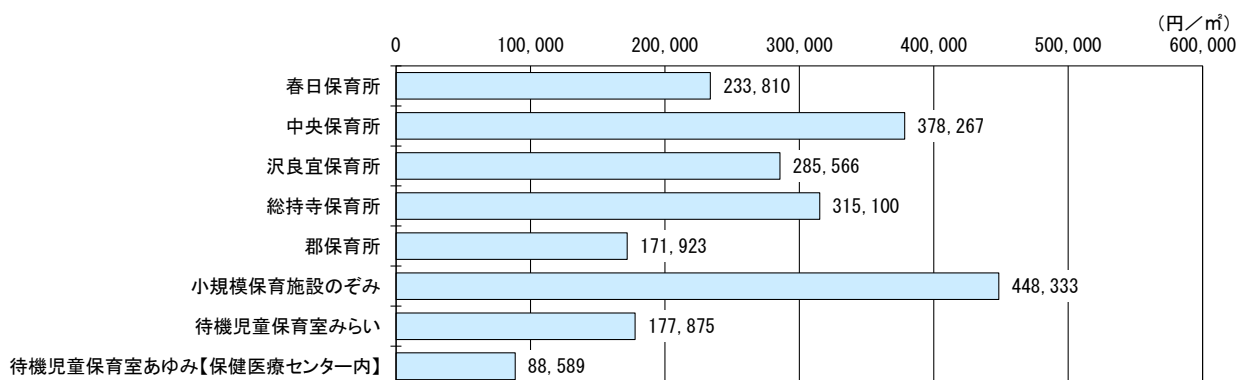


図 3-2-76 延床面積1㎡あたりの市負担コスト（令和6年度（2024年度））

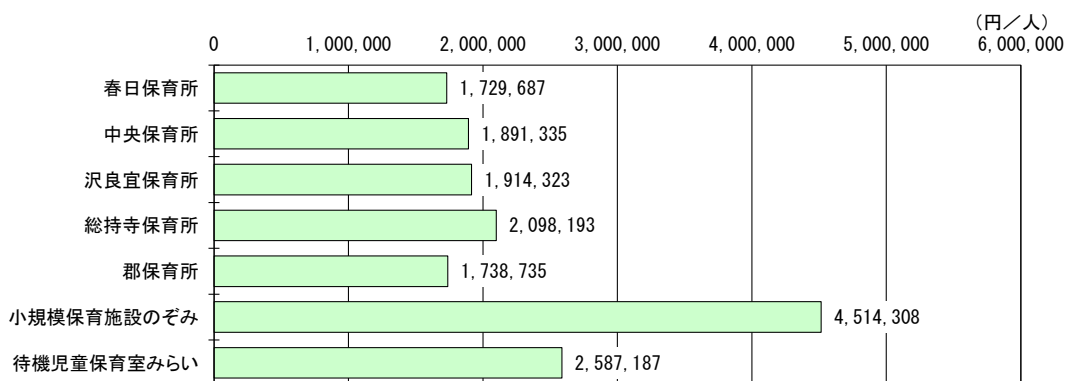


図 3-2-77 入所児童数1人あたりの市負担コスト（令和6年度（2024年度））

※待機児童保育室あゆみ【保健医療センター内】は、令和7年（2025年）4月1日開所のため除く。

⑥ 単位あたりの利用状況

延床面積百㎡あたりの児童数をみると、中央保育所で20人、総持寺保育所で約15人などとなっています。

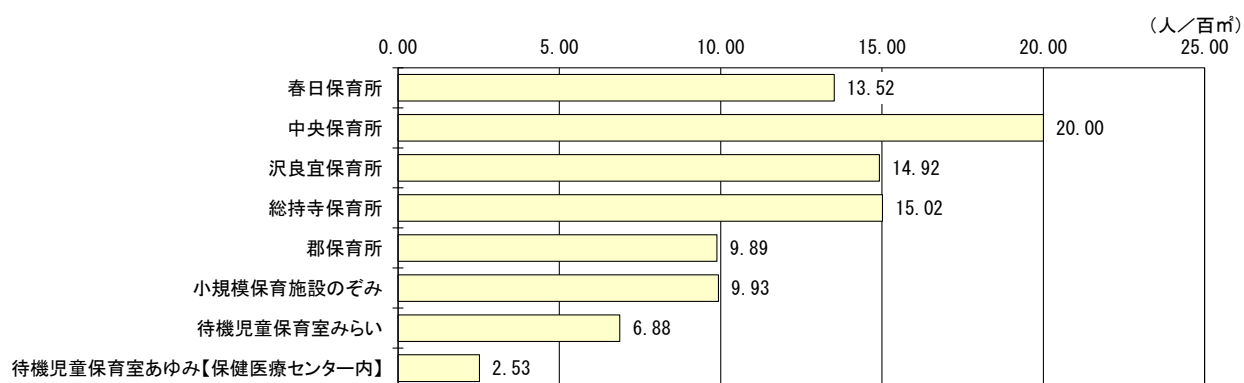


図 3-2-78 延床面積百㎡あたりの入所児童数

(令和7年(2025年)3月1日現在、待機児童保育室あゆみ【保健医療センター内】は令和7年(2025年)4月1日現在)

3) その他こども育成施設

① 概要

本市には、その他のこども育成施設が5か所あります。

こども支援センターの分館である子育てすこやかセンターでは、指定管理者制度を導入し、児童虐待対応など一部の事業を除き、こども支援センターと同様の事業を行っています。

文化・子育て複合施設おにクル内にあるこども支援センターでは、乳幼児と保護者が遊びや憩い、交流、活動など、用途に応じてフレキシブルに活用できる「子育てフリースペース わっくる」を設置しているほか、妊娠・出産・子育てに関する総合相談や子育てに関する情報やサービスの提供、児童虐待相談・対応、妊産婦・乳幼児の健康診査・保健指導等「妊娠・出産・子育て」に関するすべての相談窓口をワンストップで提供しています。

また、文化・子育て複合施設おにクル内に、屋内こども広場として、まちなかの森 もっくるが設置されました。

その他、乳幼児や児童の発達を支援し、また、相談や助言等を行うための施設として、児童発達支援事業所すくすく親子教室や児童発達支援センターあけぼの学園があります。

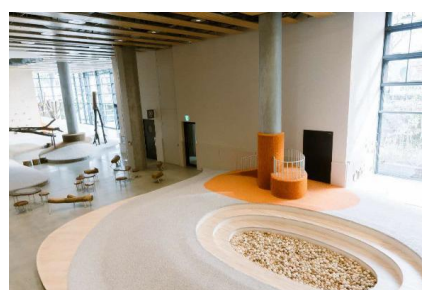
子育てすこやかセンターや児童発達支援センターあけぼの学園は、令和7年（2025年）末現在、築50年以上を経過しています。

表 3-2-13 その他こども育成施設の概要

No.	施設名	所在地	複合区分	運営形態	延床面積(m ²)	主要な建物の情報 (R7年末現在)			
						主な建築年	経過年数	構造・階数	耐震性
こども支援センター									
1	子育てすこやかセンター	沢良宜浜三丁目12番5号	単独	指定管理	284	S49	51	RC・2	○
2	こども支援センター	駅前三丁目9番45号	複合	直営	1,899	R5	2	RC・9	○
その他こども育成施設									
1	児童発達支援事業所すくすく親子教室	春日三丁目13番5号	複合	直営	468	H3	34	RC・4	○
2	児童発達支援センターあけぼの学園	西穂積町8番11号	単独	直営	1,011	S49	51	RC・1	○
3	屋内こども広場(まちなかの森 もっくる)	駅前三丁目9番45号	複合	指定管理	474	R5	2	RC・9	○



子育てすこやかセンター



屋内こども広場 (まちなかの森 もっくる)

② 施設位置図

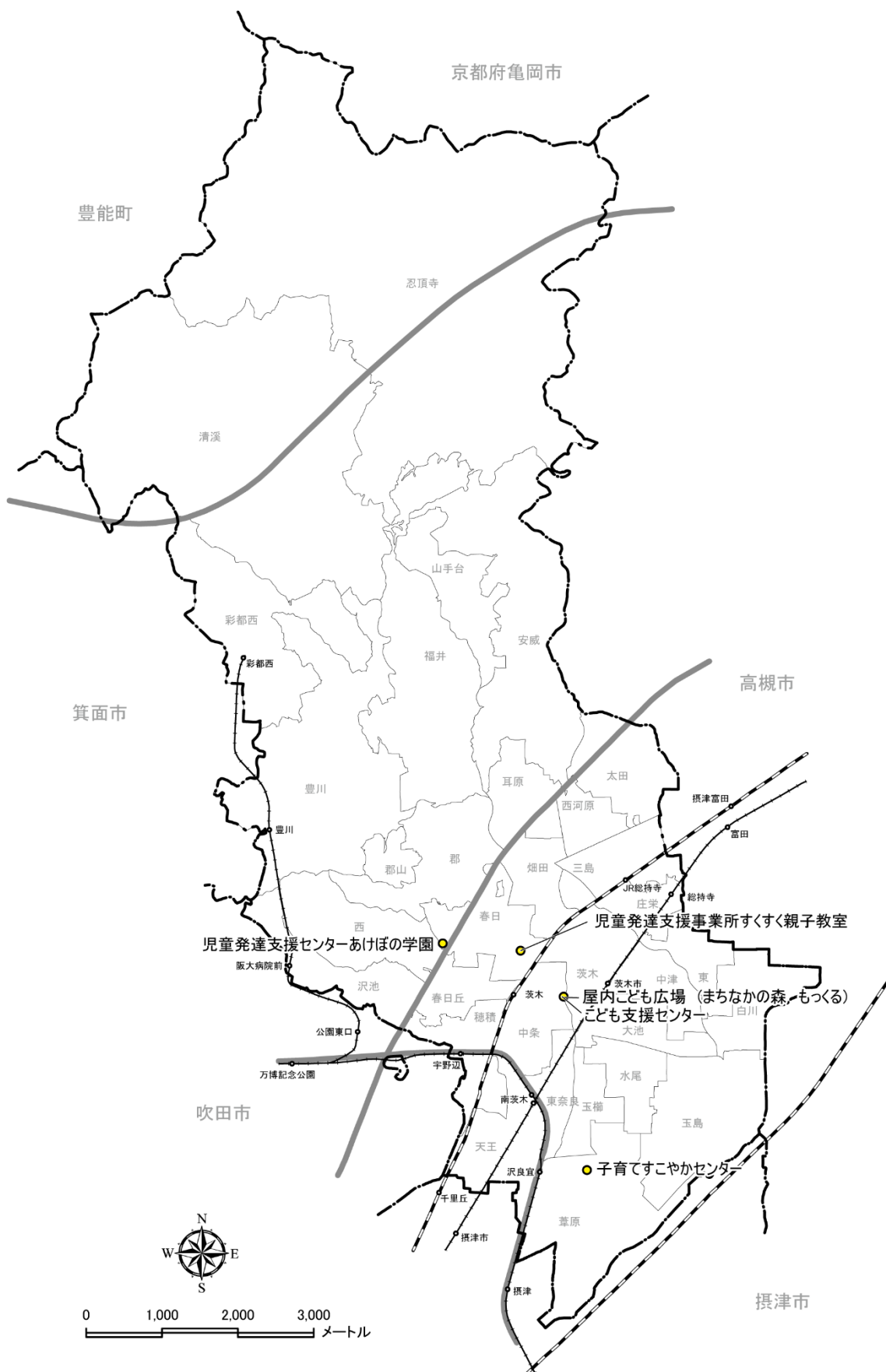


図 3-2-79 対象施設位置図 (その他子ども育成施設)

③ 利用の状況

令和6年度（2024年度）の利用状況をみると、こども支援センターで約4万1千人、屋内こども広場（まちなかの森もっくる）で約8万8千人が利用しています。

児童発達支援センターあけぼの学園では、令和6年（2024年）4月1日現在で、定員64人の100%にあたる、64人が在籍しています。

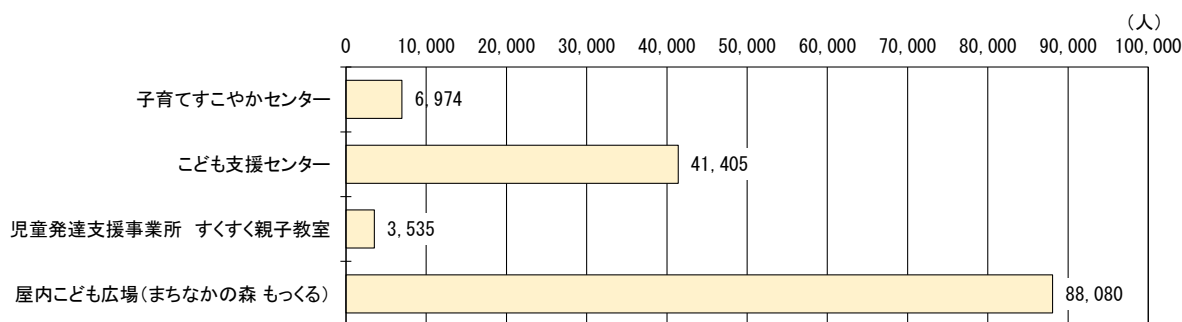


図 3-2-80 施設の利用者数（令和6年度（2024年度））

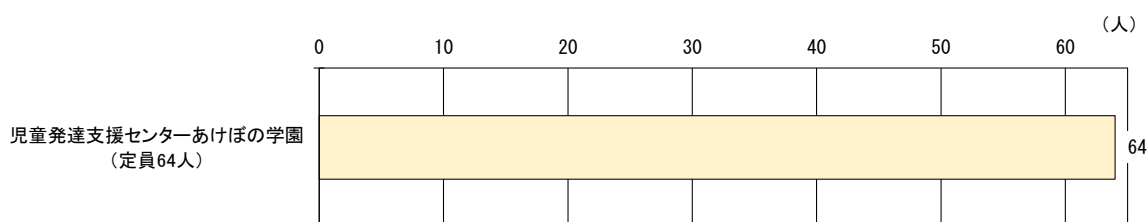


図 3-2-81 在籍児童数（令和6年（2024年）4月1日現在）

④ 施設に関する総コストの状況

令和6年度（2024年度）の施設に関する総コストをみると、こども支援センターで約5億1千万円、児童発達支援センターあけぼの学園で約2億8千万円となっています。指定管理者制度を導入している子育てすこやかセンターと屋内こども広場（まちなかの森もっくる）を除く3施設では、人件費が大部分を占めています。

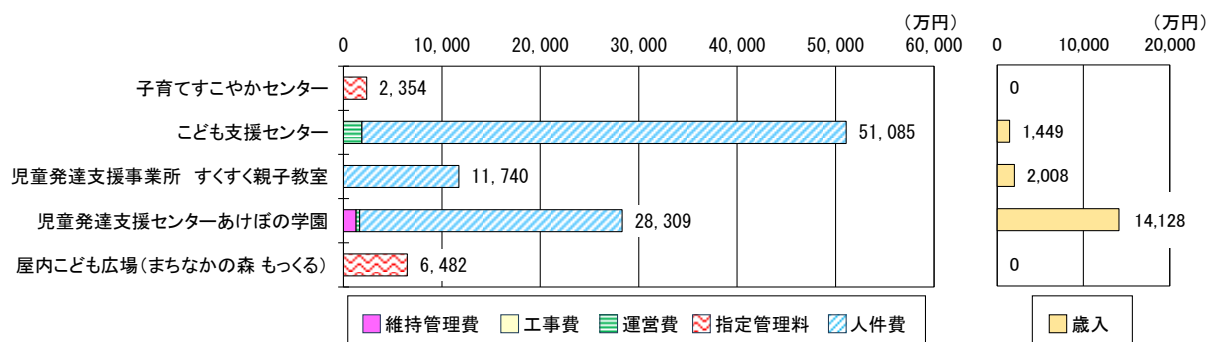


図 3-2-82 施設に関する費用と内訳（令和6年度（2024年度））

⑤ 単位あたりの市負担コストの状況

単位あたりの市負担コスト（工事費に係る歳入歳出を除く）について、延床面積1㎡あたりで比較すると、こども支援センターで約26万1千円、児童発達支援事業所すくすく親子教室で約20万8千円となっています。

また、利用者1人あたりで比較すると、児童発達支援事業所すくすく親子教室で約2万8千円となっており、児童発達支援センターあけぼの学園の在籍児童あたりでみると、約222万円となっています。

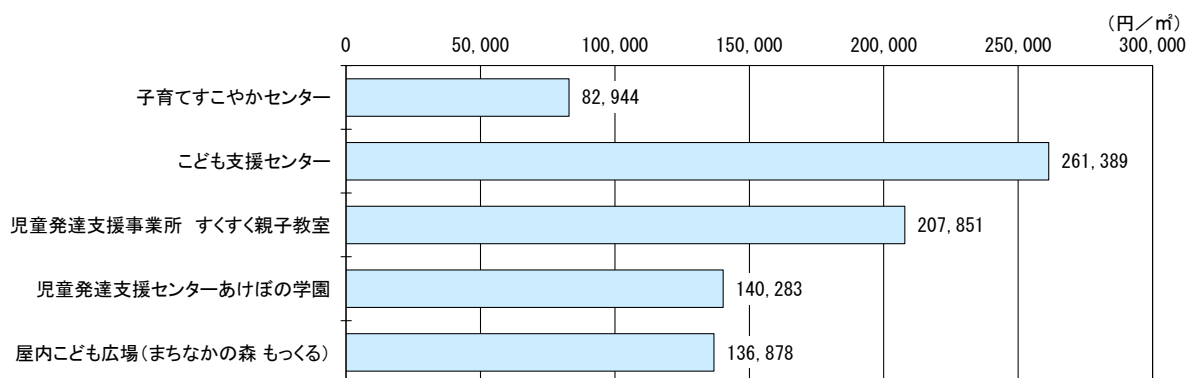


図 3-2-83 延床面積1㎡あたりの市負担コスト（令和6年度（2024年度））

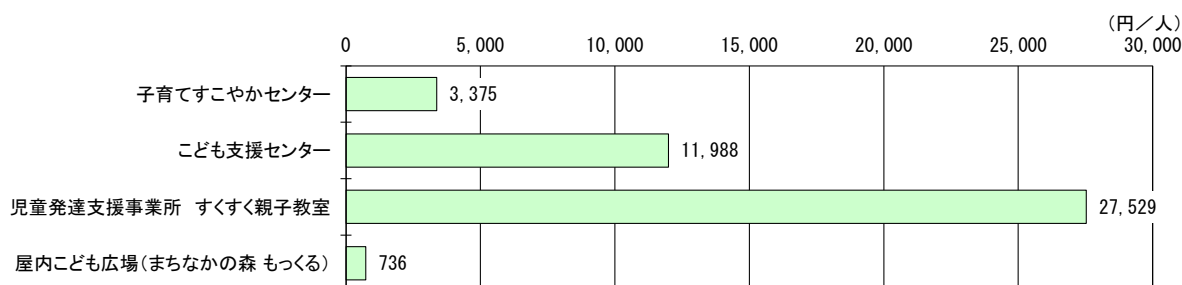


図 3-2-84 利用者1人あたりの市負担コスト（令和6年度（2024年度））

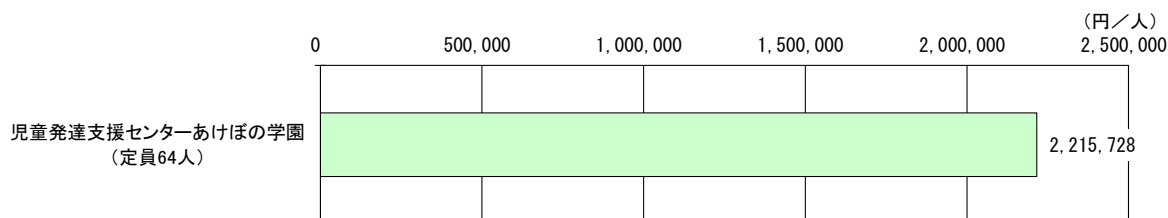


図 3-2-85 在籍児童1人あたりの市負担コスト（令和6年度（2024年度））

⑥ 単位あたりの利用状況

延床面積 1 m²あたりの利用者数をみると、屋内こども広場(まちなかの森 もつくる)で約 186 人、子育てすこやかセンターで約 25 人、こども支援センターで約 22 人などとなっています。また、児童発達支援センターあけぼの学園の延床面積百 m²あたりの在籍者数は、約 6 人となっています。

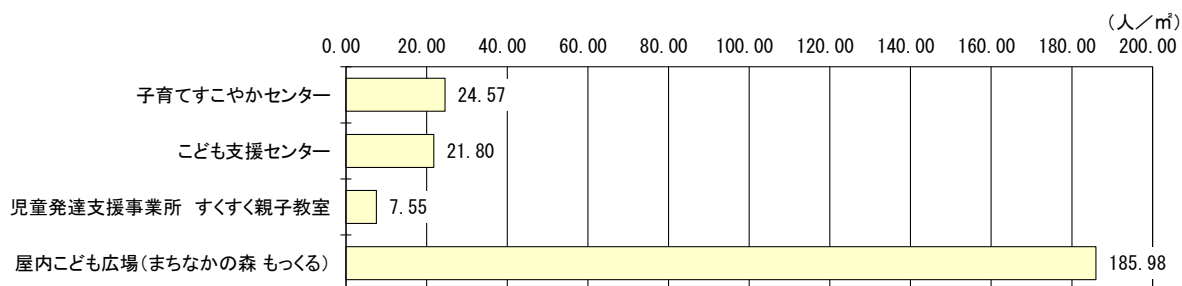


図 3-2-86 延床面積 1 m²あたりの利用者数 (令和 6 年度 (2024 年度))

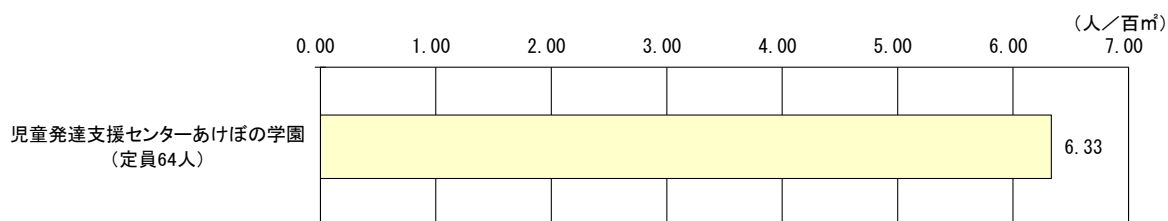


図 3-2-87 延床面積百 m²あたりの在籍児童数 (令和 6 年 (2024 年) 年 4 月 1 日現在)